参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	区中央部	千代田区	急性期	40	0	0	急性期一般入院料1	5.6日	52.1%	回復期
2	区中央部	千代田区	急性期	39	0	0	急性期一般入院料1	9.3日	57.9%	回復期
3	区中央部	千代田区	急性期	40	2	0	急性期一般入院料1	11.8日	88.3%	回復期
4	区中央部	千代田区	急性期	18	0	0	緩和ケア病棟入院料1	23.3日	75.6%	回復期
5	区中央部	千代田区	高度急性期	42	3	0	急性期一般入院料1	8.8日	67.7%	回復期
6	区中央部	千代田区	急性期	24	0	0	急性期一般入院料7	7.8日	45.6%	回復期
7	区中央部	千代田区	急性期	20	0	0	緩和ケア病棟入院料2	17.5日	53.7%	回復期
8	区中央部	中央区	高度急性期	33	1	0	急性期一般入院料1	7.0日	181.5%	回復期
9	区中央部	中央区	高度急性期	23	0	0	急性期一般入院料1	8.2日	100.4%	回復期
10	区中央部	中央区	高度急性期	6	0	0	新生児特定集中治療室管理料1	24.1日	82.8%	回復期
11	区中央部	中央区	急性期	23	0	0	緩和ケア病棟入院料1	22.3日	87.1%	回復期
12	区中央部	港区	高度急性期	24	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	68.4日	45.7%	回復期
13	区中央部	港区	高度急性期	4	0	0	小児入院医療管理料2	129.0日	93.2%	回復期
14	区中央部	港区	高度急性期	30	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	7.8日	94.7%	回復期
15	区中央部	港区	高度急性期	24	1	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	13.9日	91.3%	回復期
16	区中央部	港区	高度急性期	6	0	0	特定集中治療室管理料3	13.2日	66.3%	回復期
17	区中央部	港区	高度急性期	6	0	0	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	16.8日	97.2%	回復期
18	区中央部	港区	急性期	37	0	0	急性期一般入院料1	6.7日	75.3%	回復期
19	区中央部	港区	急性期	31	0	0	急性期一般入院料1	6.7日	88.1%	回復期
20	区中央部	港区	急性期	22	1	0	小児入院医療管理料3	8.0日	55.0%	回復期
21	区中央部	港区	高度急性期	37	0	1	急性期一般入院料1	10.6日	90.0%	回復期
22	区中央部	港区	高度急性期	6	0	0	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	8.5日	106.3%	回復期
23	区中央部	港区	高度急性期	2	0	0	新生児特定集中治療室管理料2	6.9日	125.6%	回復期
24	区中央部	港区	高度急性期	12	0	0	総合周産期特定集中治療室管理料（新生児）	14.0日	97.0%	回復期
25	区中央部	港区	高度急性期	24	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	9.2日	40.4%	回復期
26	区中央部	港区	高度急性期	12	0	0	小児入院医療管理料2	3.5日	5.0%	回復期
27	区中央部	港区	急性期	52	1	0	地域包括ケア病棟入院料2	9.2日	55.1%	回復期
28	区中央部	港区	急性期	25	1	0	急性期一般入院料1	6.5日	38.0%	回復期
29	区中央部	港区	高度急性期	35	0	0	急性期一般入院料1	10.3日	103.4%	回復期
30	区中央部	港区	高度急性期	27	0	0	急性期一般入院料1	15.5日	18.0%	回復期
31	区中央部	港区	急性期	36	0	0	急性期一般入院料1	9.7日	87.6%	回復期
32	区中央部	港区	急性期	8	0	0	不明	2.0日	41.7%	回復期
33	区中央部	港区	急性期	49	0	1	急性期一般入院料4	44.8日	79.8%	回復期
34	区中央部	文京区	高度急性期	22	0	0	緩和ケア病棟入院料1	28.3日	80.7%	回復期
35	区中央部	文京区	高度急性期	41	1	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	11.8日	98.3%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
36	区中央部	文京区	高度急性期	6	0	0	新生児特定集中治療室管理料2	14.6日	93.2%	回復期
37	区中央部	文京区	高度急性期	14	1	0	救命救急入院料2	6.8日	96.2%	回復期
38	区中央部	文京区	急性期	15	0	0	緩和ケア病棟入院料1	25.8日	69.7%	回復期
39	区中央部	文京区	高度急性期	29	2	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	4.3日	30.2%	回復期
40	区中央部	文京区	高度急性期	8	0	0	救命救急入院料4	4.9日	17.3%	回復期
41	区中央部	文京区	高度急性期	34	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	14.9日	34.2%	回復期
42	区中央部	文京区	高度急性期	15	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	15.5日	75.4%	回復期
43	区中央部	文京区	高度急性期	13	0	0	診療報酬上及び介護報酬上の入院料の届出なし	不明	不明	回復期
44	区中央部	文京区	高度急性期	22	1	0	新生児治療回復室入院医療管理料	33.6日	82.6%	回復期
45	区中央部	文京区	高度急性期	6	0	0	新生児特定集中治療室管理料1	37.8日	102.1%	回復期
46	区中央部	文京区	高度急性期	24	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	6.0日	58.4%	回復期
47	区中央部	文京区	高度急性期	41	0	1	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	13.1日	99.8%	回復期
48	区中央部	文京区	高度急性期	7	0	0	救命救急入院料4	5.7日	64.5%	回復期
49	区中央部	文京区	高度急性期	3	0	0	新生児特定集中治療室管理料2	6.7日	24.1%	回復期
50	区中央部	文京区	高度急性期	6	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	3.4日	31.7%	回復期
51	区中央部	台東区	急性期	16	0	0	緩和ケア病棟入院料1	16.9日	84.6%	回復期
52	区中央部	台東区	急性期	45	0	0	急性期一般入院料1	12.2日	85.8%	回復期
53	区中央部	台東区	急性期	60	0	0	急性期一般入院料7	13.2日	68.3%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	区南部	品川区	急性期	47	0	1	急性期一般入院料1	6.7日	84.4%	回復期
2	区南部	品川区	急性期	38	1	0	急性期一般入院料1	6.0日	67.7%	回復期
3	区南部	品川区	急性期	30	2	1	急性期一般入院料1	4.8日	53.2%	回復期
4	区南部	品川区	急性期	16	0	0	緩和ケア病棟入院料1	79.4日	235.7%	回復期
5	区南部	品川区	急性期	53	0	4	急性期一般入院料1	17.0日	71.6%	回復期
6	区南部	品川区	急性期	20	0	0	急性期一般入院料7	7.1日	37.8%	回復期
7	区南部	品川区	高度急性期	15	1	0	総合周産期特定集中治療室管理料（新生児）	15.5日	80.4%	回復期
8	区南部	品川区	高度急性期	27	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	17.1日	43.7%	回復期
9	区南部	品川区	高度急性期	10	0	0	特定集中治療室管理料3	5.4日	71.0%	回復期
10	区南部	品川区	高度急性期	13	1	0	救命救急入院料1	4.1日	81.6%	回復期
11	区南部	品川区	急性期	17	0	0	地域一般入院料3	67.9日	81.9%	回復期
12	区南部	品川区	急性期	42	1	0	急性期一般入院料5	14.7日	65.9%	回復期
13	区南部	大田区	急性期	49	0	0	急性期一般入院料1	15.3日	81.6%	回復期
14	区南部	大田区	急性期	49	0	0	地域包括ケア病棟入院料2	25.4日	84.5%	回復期
15	区南部	大田区	急性期	34	0	0	急性期一般入院料1	10.0日	72.9%	回復期
16	区南部	大田区	急性期	31	2	0	急性期一般入院料1	16.4日	100.7%	回復期
17	区南部	大田区	急性期	50	0	1	地域包括ケア病棟入院料2	20.0日	99.7%	回復期
18	区南部	大田区	急性期	60	4	0	急性期一般入院料4	1.0日	4.1%	回復期
19	区南部	大田区	高度急性期	32	2	1	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	13.8日	90.8%	回復期
20	区南部	大田区	急性期	43	1	3	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	14.6日	95.5%	回復期
21	区南部	大田区	高度急性期	18	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	13.7日	76.7%	回復期
22	区南部	大田区	高度急性期	9	0	0	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）	10.2日	68.6%	回復期
23	区南部	大田区	急性期	20	0	0	急性期一般入院料7	2.7日	53.4%	回復期
24	区南部	大田区	急性期	24	0	0	地域一般入院料3	24.1日	88.4%	回復期
25	区南部	大田区	急性期	47	0	0	急性期一般入院料4	31.5日	80.8%	回復期
26	区南部	大田区	急性期	31	2	0	急性期一般入院料1	20.5日	76.8%	回復期
27	区南部	大田区	急性期	16	0	0	急性期一般入院料1	1.6日	44.0%	回復期
28	区南部	大田区	急性期	42	2	0	急性期一般入院料1	11.5日	87.3%	回復期
29	区南部	大田区	急性期	42	2	0	急性期一般入院料1	18.6日	92.1%	回復期
30	区南部	大田区	急性期	43	0	1	急性期一般入院料1	14.4日	77.4%	回復期
31	区南部	大田区	急性期	20	0	0	急性期一般入院料1	8.6日	101.3%	回復期
32	区南部	大田区	急性期	43	0	0	診療報酬上及び介護報酬上の入院料の届出なし	不明	不明	回復期
33	区南部	大田区	高度急性期	6	0	0	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	7.0日	95.4%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	区西南部	目黒区	急性期	49	1	2	急性期一般入院料1	0.0日	5.2%	回復期
2	区西南部	目黒区	急性期	46	0	1	急性期一般入院料1	16.7日	66.4%	回復期
3	区西南部	目黒区	急性期	19	0	0	緩和ケア病棟入院料2	59.7日	100.1%	回復期
4	区西南部	目黒区	急性期	29	0	0	急性期一般入院料6	23.6日	67.8%	回復期
5	区西南部	目黒区	高度急性期	47	2	0	急性期一般入院料1	8.2日	91.6%	回復期
6	区西南部	目黒区	高度急性期	44	0	0	急性期一般入院料1	12.2日	72.9%	回復期
7	区西南部	目黒区	高度急性期	8	0	0	ハイケアユニット入院医療管理料1	10.3日	74.3%	回復期
8	区西南部	目黒区	高度急性期	6	0	0	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	9.3日	88.6%	回復期
9	区西南部	目黒区	急性期	18	0	0	不明	2.0日	108.3%	回復期
10	区西南部	目黒区	高度急性期	39	0	2	急性期一般入院料1	9.3日	98.7%	回復期
11	区西南部	目黒区	高度急性期	3	0	0	新生児特定集中治療室管理料2	5.8日	72.4%	回復期
12	区西南部	目黒区	急性期	52	0	0	急性期一般入院料1	8.2日	45.4%	回復期
13	区西南部	世田谷区	急性期	47	0	2	急性期一般入院料1	16.4日	83.4%	回復期
14	区西南部	世田谷区	急性期	48	0	0	急性期一般入院料1	13.6日	78.9%	回復期
15	区西南部	世田谷区	急性期	46	0	0	急性期一般入院料1	10.7日	85.2%	回復期
16	区西南部	世田谷区	急性期	44	0	0	地域包括ケア病棟入院料2	18.6日	79.2%	回復期
17	区西南部	世田谷区	急性期	44	0	0	不明	4.3日	6.3%	回復期
18	区西南部	世田谷区	急性期	58	0	0	急性期一般入院料4	26.6日	60.6%	回復期
19	区西南部	世田谷区	急性期	45	0	0	地域一般入院料3	29.1日	55.4%	回復期
20	区西南部	世田谷区	急性期	39	1	0	地域包括ケア病棟入院料1	38.3日	77.0%	回復期
21	区西南部	世田谷区	急性期	50	0	0	地域一般入院料3	58.8日	126.0%	回復期
22	区西南部	世田谷区	急性期	37	0	0	急性期一般入院料1	13.0日	99.0%	回復期
23	区西南部	世田谷区	急性期	50	3	0	急性期一般入院料1	9.3日	44.8%	回復期
24	区西南部	世田谷区	急性期	50	0	0	急性期一般入院料1	8.1日	38.4%	回復期
25	区西南部	世田谷区	急性期	48	0	1	急性期一般入院料1	8.6日	34.1%	回復期
26	区西南部	世田谷区	急性期	46	1	0	急性期一般入院料1	7.8日	35.3%	回復期
27	区西南部	世田谷区	急性期	52	0	0	地域一般入院料3	110.3日	86.9%	回復期
28	区西南部	世田谷区	急性期	41	0	0	急性期一般入院料6	21.7日	66.8%	回復期
29	区西南部	世田谷区	急性期	55	0	0	急性期一般入院料5	13.7日	77.7%	回復期
30	区西南部	世田谷区	急性期	44	0	0	急性期一般入院料2	28.2日	92.9%	回復期
31	区西南部	世田谷区	急性期	33	0	0	急性期一般入院料5	不明	不明	回復期
32	区西南部	世田谷区	急性期	22	0	0	不明	2.0日	46.1%	回復期
33	区西南部	世田谷区	急性期	50	0	0	地域一般入院料3	51.2日	89.8%	回復期
34	区西南部	渋谷区	急性期	25	1	0	急性期一般入院料1	5.6日	122.0%	回復期
35	区西南部	渋谷区	急性期	38	0	0	急性期一般入院料1	7.9日	99.0%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
36	区西南部	渋谷区	急性期	52	1	0	急性期一般入院料1	5.1日	124.4%	回復期
37	区西南部	渋谷区	高度急性期	6	0	0	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）	15.6日	94.6%	回復期
38	区西南部	渋谷区	高度急性期	15	0	0	総合周産期特定集中治療室管理料（新生児）	11.1日	100.5%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	区西部	新宿区	高度急性期	6	0	0	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	6.7日	75.9%	回復期
2	区西部	新宿区	高度急性期	6	0	0	新生児特定集中治療室管理料1	10.2日	54.7%	回復期
3	区西部	新宿区	高度急性期	12	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	8.6日	42.3%	回復期
4	区西部	新宿区	急性期	41	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	7.9日	73.1%	回復期
5	区西部	新宿区	急性期	24	1	1	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	3.3日	33.7%	回復期
6	区西部	新宿区	急性期	47	0	1	地域包括ケア病棟入院料2	15.5日	80.7%	回復期
7	区西部	新宿区	急性期	15	0	0	急性期一般入院料1	5.4日	200.9%	回復期
8	区西部	新宿区	高度急性期	26	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	8.7日	97.1%	回復期
9	区西部	新宿区	高度急性期	14	0	0	小児入院医療管理料1	8.7日	56.4%	回復期
10	区西部	新宿区	高度急性期	12	0	0	新生児特定集中治療室管理料1	4.0日	87.7%	回復期
11	区西部	新宿区	高度急性期	52	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	14.4日	81.4%	回復期
12	区西部	新宿区	高度急性期	50	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	7.7日	93.3%	回復期
13	区西部	新宿区	急性期	55	0	0	急性期一般入院料1	不明	不明	回復期
14	区西部	新宿区	急性期	26	0	0	急性期一般入院料1	7.5日	78.9%	回復期
15	区西部	新宿区	急性期	39	0	0	急性期一般入院料6	16.3日	71.7%	回復期
16	区西部	新宿区	高度急性期	18	0	0	小児入院医療管理料1	4.6日	6.7%	回復期
17	区西部	新宿区	高度急性期	9	0	0	総合周産期特定集中治療室管理料（新生児）	23.0日	8.1%	回復期
18	区西部	新宿区	急性期	39	1	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	9.1日	6.9%	回復期
19	区西部	新宿区	高度急性期	40	3	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	5.7日	6.5%	回復期
20	区西部	新宿区	急性期	10	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	6.2日	14.0%	回復期
21	区西部	新宿区	急性期	27	2	0	急性期一般入院料1	6.7日	90.2%	回復期
22	区西部	新宿区	高度急性期	24	0	1	急性期一般入院料1	8.6日	76.9%	回復期
23	区西部	新宿区	高度急性期	28	0	1	急性期一般入院料1	10.3日	88.7%	回復期
24	区西部	新宿区	急性期	44	0	3	急性期一般入院料1	13.1日	88.9%	回復期
25	区西部	新宿区	急性期	15	0	1	急性期一般入院料1	22.9日	67.6%	回復期
26	区西部	新宿区	高度急性期	28	1	1	小児入院医療管理料1	5.7日	73.4%	回復期
27	区西部	新宿区	高度急性期	18	0	0	総合周産期特定集中治療室管理料（新生児）	20.7日	58.8%	回復期
28	区西部	新宿区	高度急性期	21	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	19.6日	51.3%	回復期
29	区西部	中野区	急性期	37	0	0	急性期一般入院料6	11.0日	81.1%	回復期
30	区西部	中野区	急性期	49	3	0	急性期一般入院料1	14.3日	78.4%	回復期
31	区西部	中野区	急性期	50	0	0	急性期一般入院料1	13.5日	68.2%	回復期
32	区西部	中野区	急性期	55	0	0	急性期一般入院料5	19.0日	97.1%	回復期
33	区西部	中野区	急性期	47	0	0	急性期一般入院料5	18.5日	72.9%	回復期
34	区西部	中野区	急性期	47	2	0	急性期一般入院料1	16.0日	90.5%	回復期
35	区西部	杉並区	急性期	32	0	0	地域一般入院料3	42.9日	67.3%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
36	区西部	杉並区	急性期	45	0	3	急性期一般入院料1	13.1日	89.7%	回復期
37	区西部	杉並区	急性期	50	3	3	地域包括ケア病棟入院料1	9.4日	65.3%	回復期
38	区西部	杉並区	急性期	20	0	0	緩和ケア病棟入院料1	20.9日	70.3%	回復期
39	区西部	杉並区	急性期	50	0	1	急性期一般入院料5	18.5日	84.5%	回復期
40	区西部	杉並区	高度急性期	6	0	0	特定集中治療室管理料3	3.8日	87.8%	回復期
41	区西部	杉並区	急性期	45	1	1	急性期一般入院料1	9.4日	102.8%	回復期
42	区西部	杉並区	急性期	40	1	0	急性期一般入院料1	14.9日	100.2%	回復期
43	区西部	杉並区	急性期	36	0	0	急性期一般入院料1	9.7日	104.9%	回復期
44	区西部	杉並区	急性期	18	0	0	急性期一般入院料1	3.8日	78.9%	回復期
45	区西部	杉並区	急性期	50	0	0	地域包括ケア病棟入院料2	47.2日	96.6%	回復期
46	区西部	杉並区	急性期	50	0	0	地域包括ケア病棟入院料2	45.4日	97.7%	回復期
47	区西部	杉並区	急性期	12	0	0	急性期一般入院料1	4.7日	49.7%	回復期
48	区西部	杉並区	急性期	34	0	0	緩和ケア病棟入院料1	不明	不明	回復期
49	区西部	杉並区	急性期	37	1	0	急性期一般入院料7	22.0日	43.0%	回復期
50	区西部	杉並区	急性期	43	0	0	急性期一般入院料1	12.7日	87.4%	回復期
51	区西部	杉並区	急性期	10	0	0	急性期一般入院料1	6.7日	357.2%	回復期
52	区西部	杉並区	急性期	15	0	0	緩和ケア病棟入院料1	17.9日	86.9%	回復期
53	区西部	杉並区	急性期	51	0	4	急性期一般入院料4	22.0日	86.2%	回復期
54	区西部	杉並区	急性期	37	0	0	急性期一般入院料1	7.9日	99.3%	回復期
55	区西部	杉並区	急性期	16	0	0	急性期一般入院料1	6.4日	92.5%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	区西北部	豊島区	急性期	60	0	0	急性期一般入院料6	12.3日	75.8%	回復期
2	区西北部	豊島区	急性期	21	0	0	一般病棟特別入院基本料	24.2日	3.4%	回復期
3	区西北部	豊島区	高度急性期	15	0	0	総合周産期特定集中治療室管理料（新生児）	27.6日	98.8%	回復期
4	区西北部	豊島区	高度急性期	30	1	0	新生児治療回復室入院医療管理料	14.7日	77.3%	回復期
5	区西北部	豊島区	高度急性期	6	0	0	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）	8.1日	71.9%	回復期
6	区西北部	豊島区	急性期	41	0	0	急性期一般入院料1	12.9日	76.8%	回復期
7	区西北部	豊島区	急性期	44	0	0	急性期一般入院料1	18.3日	71.6%	回復期
8	区西北部	豊島区	急性期	33	0	0	急性期一般入院料5	35.0日	90.0%	回復期
9	区西北部	豊島区	急性期	60	0	1	急性期一般入院料5	15.4日	78.3%	回復期
10	区西北部	豊島区	急性期	47	0	0	地域一般入院料3	38.3日	63.3%	回復期
11	区西北部	豊島区	急性期	46	0	0	急性期一般入院料4	20.0日	73.8%	回復期
12	区西北部	豊島区	急性期	51	0	0	不明	22.5日	77.6%	回復期
13	区西北部	北区	急性期	47	0	0	急性期一般入院料4	17.2日	95.4%	回復期
14	区西北部	北区	急性期	38	0	0	急性期一般入院料7	19.3日	88.9%	回復期
15	区西北部	北区	急性期	41	1	0	急性期一般入院料1	5.2日	115.0%	回復期
16	区西北部	北区	急性期	42	0	1	急性期一般入院料1	10.5日	92.7%	回復期
17	区西北部	北区	高度急性期	3	0	0	新生児特定集中治療室管理料2	14.1日	127.5%	回復期
18	区西北部	北区	高度急性期	6	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	1.7日	30.0%	回復期
19	区西北部	北区	急性期	39	0	1	地域一般入院料3	44.8日	93.6%	回復期
20	区西北部	北区	急性期	48	3	0	急性期一般入院料5	21.1日	80.7%	回復期
21	区西北部	北区	急性期	42	1	1	急性期一般入院料5	16.6日	101.3%	回復期
22	区西北部	板橋区	急性期	37	0	0	地域一般入院料3	28.7日	82.5%	回復期
23	区西北部	板橋区	急性期	38	0	0	地域一般入院料2	18.3日	72.8%	回復期
24	区西北部	板橋区	急性期	36	0	0	地域一般入院料3	38.2日	91.9%	回復期
25	区西北部	板橋区	高度急性期	37	0	2	急性期一般入院料1	11.7日	98.6%	回復期
26	区西北部	板橋区	急性期	38	0	1	急性期一般入院料1	11.2日	100.0%	回復期
27	区西北部	板橋区	急性期	37	0	0	急性期一般入院料1	14.4日	93.7%	回復期
28	区西北部	板橋区	急性期	24	0	0	地域一般入院料3	31.0日	83.6%	回復期
29	区西北部	板橋区	急性期	20	0	0	急性期一般入院料1	41.5日	200.3%	回復期
30	区西北部	板橋区	急性期	22	0	0	地域包括ケア入院医療管理料2	不明	不明	回復期
31	区西北部	板橋区	急性期	37	1	0	地域一般入院料2	31.6日	92.5%	回復期
32	区西北部	板橋区	急性期	34	0	0	地域一般入院料2	42.6日	88.0%	回復期
33	区西北部	板橋区	急性期	34	0	0	地域一般入院料2	42.6日	87.6%	回復期
34	区西北部	板橋区	急性期	24	0	0	急性期一般入院料1	13.4日	93.7%	回復期
35	区西北部	板橋区	急性期	49	0	3	地域一般入院料3	43.2日	81.1%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
36	区西北部	板橋区	急性期	48	0	2	地域一般入院料3	30.1日	69.0%	回復期
37	区西北部	板橋区	急性期	49	0	0	急性期一般入院料4	15.4日	95.6%	回復期
38	区西北部	板橋区	急性期	54	3	1	急性期一般入院料4	22.6日	101.6%	回復期
39	区西北部	板橋区	急性期	29	0	0	急性期一般入院料1	25.0日	65.7%	回復期
40	区西北部	板橋区	急性期	38	0	0	急性期一般入院料1	25.5日	67.3%	回復期
41	区西北部	板橋区	急性期	20	0	0	地域一般入院料1	30.0日	87.2%	回復期
42	区西北部	板橋区	急性期	20	0	0	緩和ケア病棟入院料1	17.2日	87.5%	回復期
43	区西北部	板橋区	高度急性期	26	1	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	5.8日	82.9%	回復期
44	区西北部	板橋区	高度急性期	12	0	0	総合周産期特定集中治療室管理料（新生児）	15.4日	93.5%	回復期
45	区西北部	板橋区	高度急性期	24	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	8.7日	112.5%	回復期
46	区西北部	板橋区	高度急性期	24	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	9.7日	31.1%	回復期
47	区西北部	板橋区	高度急性期	42	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	23.8日	90.9%	回復期
48	区西北部	板橋区	高度急性期	46	0	2	急性期一般入院料1	15.8日	70.6%	回復期
49	区西北部	板橋区	高度急性期	39	1	0	急性期一般入院料1	14.8日	88.8%	回復期
50	区西北部	板橋区	急性期	35	0	0	急性期一般入院料1	6.0日	126.5%	回復期
51	区西北部	板橋区	急性期	43	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	9.2日	105.2%	回復期
52	区西北部	板橋区	高度急性期	24	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	15.2日	77.2%	回復期
53	区西北部	板橋区	急性期	17	0	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	10.2日	97.5%	回復期
54	区西北部	板橋区	急性期	60	0	0	地域一般入院料3	96.1日	86.2%	回復期
55	区西北部	板橋区	急性期	44	0	2	急性期一般入院料1	16.9日	91.6%	回復期
56	区西北部	板橋区	高度急性期	4	0	0	急性期一般入院料1	10.2日	77.7%	回復期
57	区西北部	板橋区	急性期	36	0	0	障害者施設等15対1入院基本料	不明	不明	回復期
58	区西北部	練馬区	急性期	31	0	0	地域一般入院料3	23.2日	64.0%	回復期
59	区西北部	練馬区	急性期	42	0	0	地域一般入院料3	46.1日	94.8%	回復期
60	区西北部	練馬区	急性期	56	1	1	急性期一般入院料1	12.3日	98.8%	回復期
61	区西北部	練馬区	急性期	42	1	0	小児入院医療管理料3	4.3日	37.0%	回復期
62	区西北部	練馬区	急性期	46	0	3	急性期一般入院料1	10.7日	95.0%	回復期
63	区西北部	練馬区	急性期	45	1	0	急性期一般入院料6	12.6日	79.4%	回復期
64	区西北部	練馬区	急性期	54	0	0	急性期一般入院料6	11.0日	56.5%	回復期
65	区西北部	練馬区	急性期	22	0	0	急性期一般入院料1	6.5日	213.9%	回復期
66	区西北部	練馬区	急性期	30	0	0	一般病棟特別入院基本料	4.4日	100.7%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	区東北部	荒川区	急性期	60	3	0	地域一般入院料2	28.9日	76.1%	回復期
2	区東北部	荒川区	急性期	60	0	0	地域一般入院料3	66.4日	67.6%	回復期
3	区東北部	荒川区	急性期	31	0	0	急性期一般入院料4	0.0日	0.8%	回復期
4	区東北部	荒川区	急性期	47	0	0	地域一般入院料2	11.0日	58.7%	回復期
5	区東北部	荒川区	高度急性期	56	0	3	急性期一般入院料1	11.1日	96.6%	回復期
6	区東北部	荒川区	高度急性期	9	0	0	新生児特定集中治療室管理料1	14.0日	94.6%	回復期
7	区東北部	荒川区	高度急性期	18	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	28.9日	91.1%	回復期
8	区東北部	荒川区	急性期	51	1	3	急性期一般入院料5	23.4日	100.1%	回復期
9	区東北部	足立区	急性期	31	0	0	急性期一般入院料5	24.0日	115.5%	回復期
10	区東北部	足立区	急性期	28	0	0	急性期一般入院料4	12.9日	97.8%	回復期
11	区東北部	足立区	高度急性期	12	0	0	ハイケアユニット入院医療管理料1	16.3日	90.4%	回復期
12	区東北部	足立区	急性期	29	0	0	急性期一般入院料4	17.6日	90.6%	回復期
13	区東北部	足立区	急性期	60	4	0	急性期一般入院料5	21.5日	65.5%	回復期
14	区東北部	足立区	急性期	60	0	0	地域一般入院料1	22.9日	98.8%	回復期
15	区東北部	足立区	急性期	51	0	2	急性期一般入院料4	12.2日	98.0%	回復期
16	区東北部	足立区	急性期	57	1	1	急性期一般入院料4	13.3日	89.3%	回復期
17	区東北部	足立区	急性期	48	3	0	急性期一般入院料4	16.6日	75.9%	回復期
18	区東北部	足立区	急性期	45	0	0	障害者施設等13対1入院基本料	35.5日	89.9%	回復期
19	区東北部	足立区	急性期	48	3	0	急性期一般入院料1	9.7日	60.2%	回復期
20	区東北部	足立区	急性期	60	4	0	急性期一般入院料1	7.2日	97.7%	回復期
21	区東北部	足立区	高度急性期	8	0	0	特定集中治療室管理料1	3.2日	61.1%	回復期
22	区東北部	足立区	急性期	46	0	0	急性期一般入院料4	19.5日	96.4%	回復期
23	区東北部	足立区	急性期	30	1	0	急性期一般入院料4	14.1日	74.1%	回復期
24	区東北部	足立区	急性期	48	0	0	急性期一般入院料4	18.2日	61.3%	回復期
25	区東北部	足立区	急性期	54	0	0	地域一般入院料1	51.1日	77.2%	回復期
26	区東北部	足立区	急性期	53	0	0	急性期一般入院料3	29.3日	65.0%	回復期
27	区東北部	足立区	急性期	53	0	0	急性期一般入院料4	24.3日	85.8%	回復期
28	区東北部	足立区	急性期	51	0	0	地域一般入院料1	22.0日	90.4%	回復期
29	区東北部	足立区	急性期	47	0	0	地域一般入院料1	20.6日	92.2%	回復期
30	区東北部	足立区	急性期	46	0	0	地域一般入院料1	22.5日	0.8%	回復期
31	区東北部	足立区	急性期	52	4	0	急性期一般入院料5	17.7日	78.2%	回復期
32	区東北部	足立区	急性期	60	1	0	急性期一般入院料4	14.1日	72.6%	回復期
33	区東北部	足立区	急性期	56	0	0	地域一般入院料1	16.7日	25.7%	回復期
34	区東北部	葛飾区	急性期	58	0	0	急性期一般入院料4	49.1日	127.7%	回復期
35	区東北部	葛飾区	急性期	48	0	0	急性期一般入院料2	13.3日	86.3%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
36	区東北部	葛飾区	急性期	26	0	0	急性期一般入院料1	10.0日	87.7%	回復期
37	区東北部	葛飾区	急性期	44	1	2	急性期一般入院料5	19.7日	74.7%	回復期
38	区東北部	葛飾区	急性期	42	0	0	地域一般入院料2	17.8日	65.5%	回復期
39	区東北部	葛飾区	急性期	26	0	2	急性期一般入院料4	10.5日	100.8%	回復期
40	区東北部	葛飾区	急性期	35	0	1	急性期一般入院料4	13.7日	105.3%	回復期
41	区東北部	葛飾区	急性期	20	0	0	急性期一般入院料1	8.2日	107.2%	回復期
42	区東北部	葛飾区	急性期	48	0	0	急性期一般入院料1	4.6日	101.6%	回復期
43	区東北部	葛飾区	高度急性期	12	0	0	新生児特定集中治療室管理料1	14.4日	106.1%	回復期
44	区東北部	葛飾区	高度急性期	18	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	9.7日	70.6%	回復期
45	区東北部	葛飾区	急性期	46	0	0	急性期一般入院料1	10.2日	73.5%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	区東部	墨田区	高度急性期	4	0	0	急性期一般入院料1	4.4日	78.6%	回復期
2	区東部	墨田区	急性期	3	0	0	不明	1.2日	18.4%	回復期
3	区東部	墨田区	急性期	44	0	0	急性期一般入院料1	8.1日	93.6%	回復期
4	区東部	墨田区	急性期	49	2	0	急性期一般入院料1	21.1日	84.9%	回復期
5	区東部	墨田区	高度急性期	33	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	18.7日	81.1%	回復期
6	区東部	墨田区	高度急性期	16	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	27.1日	96.7%	回復期
7	区東部	墨田区	高度急性期	10	0	0	急性期一般入院料1	2.0日	79.8%	回復期
8	区東部	墨田区	急性期	42	2	2	急性期一般入院料1	15.7日	100.7%	回復期
9	区東部	墨田区	急性期	40	2	3	急性期一般入院料1	19.0日	90.0%	回復期
10	区東部	墨田区	急性期	29	0	0	地域包括ケア病棟入院料2	24.7日	42.5%	回復期
11	区東部	墨田区	急性期	47	2	1	地域一般入院料1	21.6日	97.5%	回復期
12	区東部	墨田区	急性期	58	0	0	不明	4.1日	77.6%	回復期
13	区東部	墨田区	急性期	16	0	0	地域一般入院料3	24.3日	57.4%	回復期
14	区東部	墨田区	高度急性期	6	0	0	新生児特定集中治療室管理料2	12.6日	93.7%	回復期
15	区東部	墨田区	急性期	38	0	0	急性期一般入院料1	5.7日	93.3%	回復期
16	区東部	墨田区	急性期	20	0	0	緩和ケア病棟入院料1	24.2日	75.6%	回復期
17	区東部	墨田区	急性期	38	0	0	急性期一般入院料1	19.6日	94.1%	回復期
18	区東部	江東区	急性期	37	0	0	地域包括ケア病棟入院料2	13.1日	78.7%	回復期
19	区東部	江東区	急性期	44	0	0	急性期一般入院料5	11.8日	61.7%	回復期
20	区東部	江東区	急性期	44	0	0	急性期一般入院料7	28.5日	83.8%	回復期
21	区東部	江東区	急性期	40	0	0	急性期一般入院料4	16.3日	81.3%	回復期
22	区東部	江東区	急性期	25	0	0	緩和ケア病棟入院料1	24.2日	91.8%	回復期
23	区東部	江東区	高度急性期	9	0	0	新生児特定集中治療室管理料1	25.6日	90.5%	回復期
24	区東部	江東区	高度急性期	32	0	0	急性期一般入院料1	6.7日	109.5%	回復期
25	区東部	江東区	急性期	45	0	0	急性期一般入院料4	19.4日	75.1%	回復期
26	区東部	江東区	急性期	48	1	0	急性期一般入院料4	1.0日	11.7%	回復期
27	区東部	江東区	急性期	44	0	0	急性期一般入院料5	13.3日	83.9%	回復期
28	区東部	江東区	急性期	45	0	0	地域一般入院料3	17.2日	60.3%	回復期
29	区東部	江東区	急性期	46	0	0	地域一般入院料3	58.2日	77.2%	回復期
30	区東部	江戸川区	急性期	45	2	0	急性期一般入院料5	16.7日	73.8%	回復期
31	区東部	江戸川区	急性期	45	2	0	急性期一般入院料5	13.4日	42.3%	回復期
32	区東部	江戸川区	急性期	48	1	0	急性期一般入院料4	27.8日	71.6%	回復期
33	区東部	江戸川区	急性期	33	0	0	急性期一般入院料7	1.0日	44.3%	回復期
34	区東部	江戸川区	急性期	26	1	1	地域一般入院料2	17.7日	89.1%	回復期
35	区東部	江戸川区	急性期	33	0	0	地域一般入院料2	13.2日	80.4%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
36	区東部	江戸川区	急性期	43	0	2	急性期一般入院料6	15.7日	77.3%	回復期
37	区東部	江戸川区	急性期	27	2	0	急性期一般入院料6	10.7日	85.8%	回復期
38	区東部	江戸川区	急性期	33	0	0	急性期一般入院料1	16.0日	89.9%	回復期
39	区東部	江戸川区	急性期	33	0	0	急性期一般入院料1	10.9日	97.3%	回復期
40	区東部	江戸川区	急性期	39	0	0	急性期一般入院料7	0.9日	52.2%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	西多摩	青梅市	急性期	24	0	0	急性期一般入院料7	14.1日	99.3%	回復期
2	西多摩	福生市	急性期	41	0	0	急性期一般入院料4	45.2日	64.0%	回復期
3	西多摩	福生市	急性期	26	0	0	地域一般入院料3	6.0日	70.0%	回復期
4	西多摩	福生市	急性期	45	0	0	地域一般入院料3	20.7日	70.3%	回復期
5	西多摩	福生市	急性期	46	3	2	急性期一般入院料1	14.1日	79.7%	回復期
6	西多摩	あきる野市	急性期	43	0	0	地域包括ケア病棟入院料2	25.4日	73.2%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	南多摩	八王子市	急性期	40	0	0	地域一般入院料3	37.2日	66.4%	回復期
2	南多摩	八王子市	急性期	35	0	0	急性期一般入院料7	5.4日	89.0%	回復期
3	南多摩	八王子市	急性期	39	0	0	急性期一般入院料5	11.1日	76.2%	回復期
4	南多摩	八王子市	急性期	16	0	0	急性期一般入院料4	3.4日	99.1%	回復期
5	南多摩	八王子市	高度急性期	4	0	0	ハイケアユニット入院医療管理料1	3.9日	69.9%	回復期
6	南多摩	八王子市	急性期	54	0	0	地域一般入院料3	7.9日	39.1%	回復期
7	南多摩	八王子市	高度急性期	28	2	0	救命救急入院料1	5.5日	69.1%	回復期
8	南多摩	八王子市	急性期	33	0	0	地域包括ケア病棟入院料1	49.6日	93.1%	回復期
9	南多摩	八王子市	急性期	32	0	0	急性期一般入院料4	23.8日	100.3%	回復期
10	南多摩	八王子市	急性期	31	0	2	急性期一般入院料4	15.6日	97.9%	回復期
11	南多摩	町田市	急性期	51	0	0	急性期一般入院料5	17.6日	91.3%	回復期
12	南多摩	町田市	急性期	53	0	1	地域包括ケア病棟入院料2	24.2日	89.6%	回復期
13	南多摩	町田市	急性期	56	0	0	急性期一般入院料4	14.2日	97.7%	回復期
14	南多摩	町田市	急性期	30	1	0	急性期一般入院料1	4.3日	83.9%	回復期
15	南多摩	町田市	急性期	50	4	0	急性期一般入院料1	11.3日	77.1%	回復期
16	南多摩	町田市	高度急性期	6	0	0	新生児特定集中治療室管理料2	14.4日	127.8%	回復期
17	南多摩	町田市	急性期	48	0	3	急性期一般入院料1	10.9日	98.0%	回復期
18	南多摩	日野市	急性期	50	1	0	急性期一般入院料1	17.2日	103.1%	回復期
19	南多摩	多摩市	急性期	11	0	0	緩和ケア病棟入院料1	35.6日	82.0%	回復期
20	南多摩	多摩市	高度急性期	9	0	0	救命救急入院料1	7.2日	98.7%	回復期
21	南多摩	多摩市	急性期	16	0	0	緩和ケア病棟入院料1	17.6日	89.3%	回復期
22	南多摩	稲城市	急性期	49	3	0	急性期一般入院料2	1.3日	14.6%	回復期
23	南多摩	稲城市	急性期	49	0	0	急性期一般入院料2	1.8日	6.6%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	北多摩西部	立川市	急性期	40	0	0	一般病棟特別入院基本料	5.0日	37.5%	回復期
2	北多摩西部	立川市	高度急性期	4	0	0	急性期一般入院料1	不明	不明	回復期
3	北多摩西部	立川市	高度急性期	6	0	0	新生児特定集中治療室管理料2	8.4日	87.8%	回復期
4	北多摩西部	立川市	急性期	47	0	1	急性期一般入院料1	13.9日	101.9%	回復期
5	北多摩西部	立川市	高度急性期	47	0	3	急性期一般入院料1	11.1日	100.8%	回復期
6	北多摩西部	立川市	急性期	30	1	0	急性期一般入院料1	9.1日	93.6%	回復期
7	北多摩西部	立川市	高度急性期	38	0	0	急性期一般入院料1	7.2日	94.9%	回復期
8	北多摩西部	立川市	高度急性期	44	2	1	急性期一般入院料1	17.3日	76.6%	回復期
9	北多摩西部	立川市	高度急性期	8	0	0	ハイケアユニット入院医療管理料1	6.6日	97.7%	回復期
10	北多摩西部	立川市	高度急性期	3	0	0	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	10.9日	99.7%	回復期
11	北多摩西部	昭島市	急性期	33	0	0	小児入院医療管理料3	5.2日	39.4%	回復期
12	北多摩西部	昭島市	急性期	50	0	1	急性期一般入院料5	17.2日	75.1%	回復期
13	北多摩西部	昭島市	急性期	60	1	0	急性期一般入院料1	7.9日	90.5%	回復期
14	北多摩西部	国立市	急性期	44	0	1	地域一般入院料2	19.9日	76.2%	回復期
15	北多摩西部	東大和市	高度急性期	12	0	0	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	9.3日	108.3%	回復期
16	北多摩西部	東大和市	高度急性期	52	0	0	急性期一般入院料1	8.9日	100.4%	回復期
17	北多摩西部	東大和市	急性期	26	0	0	地域包括ケア病棟入院料2	11.9日	100.5%	回復期
18	北多摩西部	東大和市	高度急性期	5	0	0	急性期一般入院料1	1.5日	98.4%	回復期
19	北多摩西部	武蔵村山市	急性期	24	0	0	小児入院医療管理料3	7.9日	90.6%	回復期

参考資料　4

■　平成30年度病床機能報告　定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	北多摩南部	武蔵野市	高度急性期	6	0	0	新生児特定集中治療室管理料1	12.0日	88.9%	回復期
2	北多摩南部	武蔵野市	高度急性期	12	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	7.9日	46.5%	回復期
3	北多摩南部	武蔵野市	急性期	51	0	1	急性期一般入院料6	17.8日	79.0%	回復期
4	北多摩南部	三鷹市	高度急性期	15	1	0	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）	21.8日	91.1%	回復期
5	北多摩南部	三鷹市	高度急性期	24	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	27.7日	72.5%	回復期
6	北多摩南部	三鷹市	高度急性期	24	1	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	6.8日	103.8%	回復期
7	北多摩南部	三鷹市	急性期	44	0	1	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	13.4日	96.1%	回復期
8	北多摩南部	三鷹市	急性期	44	2	1	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	16.9日	96.9%	回復期
9	北多摩南部	三鷹市	高度急性期	25	0	1	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	7.7日	64.1%	回復期
10	北多摩南部	三鷹市	高度急性期	39	1	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	8.3日	89.3%	回復期
11	北多摩南部	三鷹市	高度急性期	31	1	0	特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	9.0日	91.3%	回復期
12	北多摩南部	三鷹市	急性期	35	0	1	急性期一般入院料1	20.8日	90.0%	回復期
13	北多摩南部	三鷹市	急性期	29	0	0	急性期一般入院料1	18.9日	93.8%	回復期
14	北多摩南部	三鷹市	急性期	34	0	0	急性期一般入院料4	1.0日	13.1%	回復期
15	北多摩南部	三鷹市	急性期	12	0	0	緩和ケア病棟入院料1	1.0日	12.9%	回復期
16	北多摩南部	府中市	急性期	16	1	0	急性期一般入院料1	5.8日	142.0%	回復期
17	北多摩南部	府中市	高度急性期	29	0	0	小児入院医療管理料1	6.3日	87.0%	回復期
18	北多摩南部	府中市	高度急性期	48	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	23.1日	87.7%	回復期
19	北多摩南部	府中市	急性期	40	0	0	急性期一般入院料7	5.8日	103.5%	回復期
20	北多摩南部	府中市	急性期	32	1	0	小児入院医療管理料3	8.7日	68.0%	回復期
21	北多摩南部	府中市	急性期	32	0	0	急性期一般入院料1	17.9日	70.4%	回復期
22	北多摩南部	府中市	高度急性期	38	2	0	急性期一般入院料1	7.4日	89.0%	回復期
23	北多摩南部	府中市	高度急性期	38	3	0	急性期一般入院料1	7.7日	89.4%	回復期
24	北多摩南部	府中市	高度急性期	40	3	0	急性期一般入院料1	8.1日	91.6%	回復期
25	北多摩南部	府中市	高度急性期	30	1	0	急性期一般入院料1	1.7日	2.4%	回復期
26	北多摩南部	府中市	高度急性期	40	2	0	急性期一般入院料1	7.9日	90.5%	回復期
27	北多摩南部	府中市	高度急性期	19	0	0	小児入院医療管理料2	14.6日	33.4%	回復期
28	北多摩南部	府中市	高度急性期	6	0	0	新生児特定集中治療室管理料1	12.1日	46.2%	回復期
29	北多摩南部	府中市	高度急性期	10	0	0	ハイケアユニット入院医療管理料2	3.3日	16.4%	回復期
30	北多摩南部	府中市	急性期	30	0	0	急性期一般入院料1	12.7日	95.5%	回復期
31	北多摩南部	府中市	急性期	40	3	0	急性期一般入院料6	1.4日	11.7%	回復期
32	北多摩南部	府中市	急性期	37	2	0	急性期一般入院料1	7.8日	156.4%	回復期
33	北多摩南部	調布市	急性期	50	0	0	地域一般入院料3	39.6日	76.5%	回復期
34	北多摩南部	調布市	急性期	37	1	0	急性期一般入院料7	1.0日	15.5%	回復期
35	北多摩南部	調布市	急性期	74	0	0	急性期一般入院料4	17.3日	59.0%	回復期

参考資料 4

■ 平成30年度病床機能報告 定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
36	北多摩南部	調布市	急性期	179	0	1	急性期一般入院料4	23.8日	31.1%	回復期
37	北多摩南部	調布市	急性期	42	1	0	急性期一般入院料1	17.2日	91.8%	回復期
38	北多摩南部	小金井市	急性期	26	1	1	急性期一般入院料1	14.5日	83.7%	回復期
39	北多摩南部	狛江市	高度急性期	5	0	0	急性期一般入院料1	1.1日	46.6%	回復期
40	北多摩南部	狛江市	急性期	28	0	1	急性期一般入院料1	17.1日	86.4%	回復期

参考資料　4

■　平成30年度病床機能報告　定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	北多摩北部	小平市	急性期	36	0	0	地域一般入院料1	20.0日	85.4%	回復期
2	北多摩北部	小平市	高度急性期	6	0	0	新生児特定集中治療室管理料2	8.9日	105.3%	回復期
3	北多摩北部	小平市	高度急性期	3	0	0	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	7.4日	100.4%	回復期
4	北多摩北部	小平市	高度急性期	3	0	0	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	7.5日	98.4%	回復期
5	北多摩北部	小平市	高度急性期	4	0	0	ハイケアユニット入院医療管理料1	4.0日	75.6%	回復期
6	北多摩北部	小平市	高度急性期	37	0	0	急性期一般入院料1	14.6日	76.0%	回復期
7	北多摩北部	小平市	高度急性期	3	0	0	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	8.8日	103.3%	回復期
8	北多摩北部	小平市	高度急性期	3	0	0	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	9.0日	100.5%	回復期
9	北多摩北部	小平市	高度急性期	6	0	0	急性期一般入院料1	6.3日	7.6%	回復期
10	北多摩北部	小平市	高度急性期	12	0	0	新生児治療回復室入院医療管理料	6.9日	57.9%	回復期
11	北多摩北部	小平市	高度急性期	3	0	0	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）	7.3日	49.0%	回復期
12	北多摩北部	小平市	急性期	34	0	0	地域一般入院料3	36.2日	73.5%	回復期
13	北多摩北部	東村山市	急性期	38	0	0	急性期一般入院料1	12.8日	85.1%	回復期
14	北多摩北部	東村山市	急性期	42	0	0	急性期一般入院料1	17.9日	88.5%	回復期
15	北多摩北部	東村山市	急性期	42	0	0	小児入院医療管理料2	5.1日	51.7%	回復期
16	北多摩北部	東村山市	急性期	49	0	1	急性期一般入院料4	27.2日	89.8%	回復期
17	北多摩北部	清瀬市	急性期	48	0	0	急性期一般入院料5	不明	不明	回復期
18	北多摩北部	清瀬市	急性期	42	0	3	地域一般入院料3	42.1日	89.3%	回復期
19	北多摩北部	清瀬市	急性期	37	0	0	地域一般入院料3	68.8日	91.9%	回復期
20	北多摩北部	西東京市	急性期	55	0	0	急性期一般入院料4	15.2日	74.1%	回復期
21	北多摩北部	西東京市	急性期	41	2	0	急性期一般入院料1	9.9日	93.9%	回復期
22	北多摩北部	西東京市	急性期	46	2	2	急性期一般入院料1	12.6日	93.1%	回復期
23	北多摩北部	西東京市	急性期	42	0	0	地域一般入院料1	17.5日	73.9%	回復期
24	北多摩北部	西東京市	急性期	59	3	0	急性期一般入院料4	18.6日	50.2%	回復期
25	北多摩北部	西東京市	急性期	39	0	0	急性期一般入院料1	18.6日	106.0%	回復期

参考資料　4

■　平成30年度病床機能報告　定量的な基準の適用結果一覧（病棟単位）

（参考）本資料における病床稼働率（H30）及び平均在院日数（H30）の積算方法・病床機能報告で報告された病棟別のデータを活用し、以下の計算式により算出
病床稼働率＝在棟患者延べ数（年間）÷許可病床数÷365日＋（退棟患者数（年間）－院内の他病棟への転棟（年間））÷許可病床数÷365日
平均在棟日数＝在棟患者延べ数（年間）÷（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））÷2）

病棟項番	圏域	区市町村	平成30年度病床機能報告における医療機関報告内容（病棟票記載内容）							定量的な基準適用後の機能
			2018（平成30）年7月1日時点の機能	許可病床数	【「平成30年6月診療分」かつ「平成30年7月審査分」】		診療報酬（入院基本料）	報告結果からの算出事項		
					全身麻酔の手術	化学療法（内服薬及び注射薬）		平均在棟日数	病床稼働率	
					算定回数	算定日数				
1	島しょ	八丈町	急性期	52	0	1	地域一般入院料2	0.5日	4.9%	回復期